

見てわかる 金融力調査

第1回

金融に関する考え方と
行動の特徴

金融広報中央委員会では、2012年9月に「金融力調査」の結果を公表しました。この調査は、日本における18歳以上の個人のお金や金融に関する知識や行動の特色を把握するために実施したものです。当委員会では、調査結果を活かして、世の中の人々が必要としている金融広報や金融教育の支援を行っていきたいと考えています。

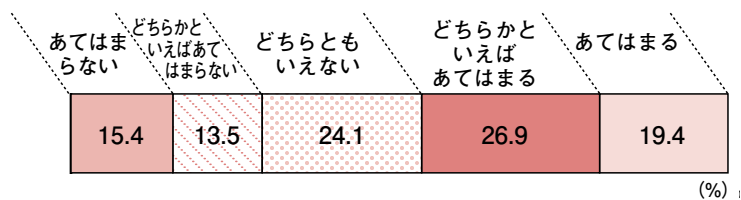
このコーナーでは、「金融力調査」の結果の一部を紹介し、エッセンスを分かりやすく説明していきます。

今回は、「金融に関する考え方と行動の特徴」についてですが、関係する質問への回答結果は、以下のようになりました。

人々のお金についての考え方や行動には、堅実で慎重な傾向がみられました。

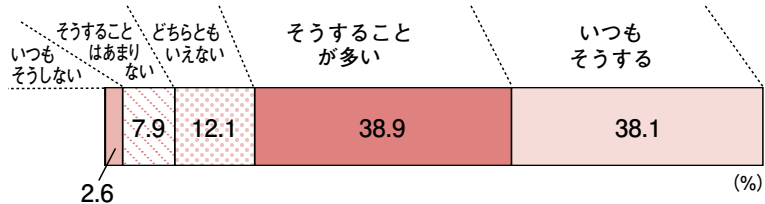
問

お金を貯めたり使ったりすることについて長期の計画を立て、それを達成するよう努力している。



問

何かを買う前に、それを買う余裕があるかどうか注意深く考える。

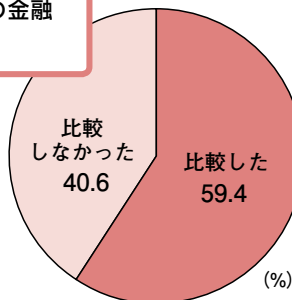


その一方で、お金を借りる際や運用する際に、利用する金融機関や保有する金融商品について、比較を行っていない人が結構いることが分かります。

問

自分の状況を踏まえて最も有利と考えられる金融商品を選ぶのに、他の金融機関あるいは他の金融商品を比較したか。

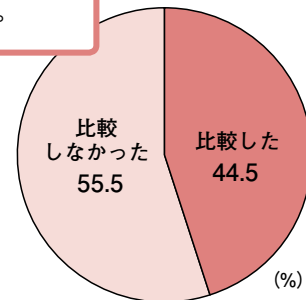
過去に一カ月の生活費相当額を超える額のお金を運用したことがある人への質問



問

自分の状況にふさわしいローンを選ぶために、他の金融機関あるいは他のローンと比較したか。

過去に金融機関から一カ月の生活費相当額を超える額のお金を借りたことがある人への質問



お金について、計画的に考え行動することは、とても大事なことです。金融機関や金融商品を選ぶ際には、十分検討して後悔しない選択をしたいものですね。